

令和二年一月二十四日（金）

「そうじをすると徳をする」

一人の青年が、公園で一人の老人がごみ拾いをしている光景に違和感を感じていました。その老人は外国製のスーツをパリッと着こなしていたからです。翌日、青年が老人に「地域のボランティアのように見えませんが、なぜ毎日ごみ拾いをしているんですか？」答えは「そうじをすると得をする」でした。「どんな得ですか」と聞くと、ただ一言「ごみを拾った人だけがわかること。ごみを一つ拾うと大切な何かを一つ拾っている。人の役に立つことを、誰も見ていなくても勇気をもって恥ずかしがらずに堂々と行動に移す。自分の意思を貫く。ごみ拾いが習慣づくことによって自尊心が芽生え、自分に自信がもて、何でもやってみようと挑戦できるようになります」全ては自分の力となり、できることを続けてすることが自分磨きになりますね。